

飛鳥資料館 冬期企画展 「飛鳥の考古学2018」

今回の展覧会では、2017年度に飛鳥・藤原地域でおこなわれた発掘調査の成果と、近年、調査分析の進展がみられた石神遺跡等から出土した多数の土器を展示します。

飛鳥中枢部においては、小山田遺跡(小山田古墳)で横穴式石室の痕跡が調査され、この古墳が石舞台古墳に匹敵する石室をもっていた可能性が高まりました。飛鳥寺西方遺跡では、飛鳥時代の石組溝や建物跡がみつき、これまでの調査成果とあわせ、「槻木の広場」推定地における土地利用の具体的状況がわかってきました。山田寺の西600m付近でおこなわれた山田道の調査では、古墳時代後期に造られた池や飛鳥時代中頃に敷設された山田道を確認しました。また、飛鳥寺北部域では、幅約1.5mの狭小なトレンチ調査でしたが、160点を超える軒瓦等、大量の遺物が出土しました。

さらに、飛鳥の周辺部においては、四条1号墳の再調査により、古墳の規模のより確実な復元が可能になりました。与楽古墳群にある与楽イモリ1号墳では、石室内から多数の副葬品がみつき、渡来系氏族の奥津城の一端を知ることができます。

この冬は、これらの発掘調査と最新研究による飛鳥の新発見をぜひお楽しみください。(飛鳥資料館 若杉 智宏)



坂田寺跡 池 SG100
出土土器群

会 期：2019年1月25日(金)～3月17日(日)月曜休館(祝日の場合は翌平日)※2月3日(日)、24日(日)は無料入館日
開館時間：9：00～16：30(入館は16：00まで)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問合せ：☎0744-54-3561

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール jimu@nabunken.go.jp
発行年月 2018年12月